

全国学力・学習状況調査の結果と考察

令和4年4月19日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の調査結果と考察をお知らせします。

学習の結果「平均正答率 (%)」

	国語	算数	理科
青木小	77	75	73
神奈川県との差	+12	+11	+10
神奈川県	65	64	63
全国	65.6	63.2	63.3

国語 正答率	青木小	県	全国
話すこと・聞くこと	74.5	66.3	66.2
書くこと	64.5	47.9	48.5
読むこと	83.2	69.5	66.6
伝達的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.6	66.8	70.5

算数 正答率	青木小	県	全国
数と数量	77.7	69.4	69.8
図形	74.3	64.9	64.0
測定			
変化と関係	70.5	53.3	51.3
データの活用	81.8	69.5	68.7

理科 正答率	青木小	県	全国
エネルギーを柱とする領域	59.8	51.8	51.6
粒子を柱とする領域	70.7	59.5	60.4
生命を柱とする領域	83.6	75.6	75.0
地球を柱とする領域	76.7	64.9	64.6



全国の結果と比較して結果に特徴のある問題

国語 ・ 全国より大きく上回った問題

- 登場人物の相互関係について、描写を基に捉える
- 表現の効果を考える
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える

・ 全国より下回った問題

なし

算数 ・ 全国より大きく上回った問題

- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる
- 示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる
- 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる
- 百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる

・ 全国より下回った問題

示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる

理科 ・ 全国より大きく上回った問題

- 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる
- 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる
- 自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる

・ 全国より下回った問題

なし

◎学習意識の結果

※数値は「はい」「どちらかといえばはい」の合計（単位は％）

	学習調査	青木小 (R4)	県	全国
①	算数の勉強は好きですか	80.7	63.1	62.5
②	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	80.8	70.6	69.3
③	国語の勉強は好きですか	79.8	59.9	59.2
④	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	98.1	92.0	91.8
⑤	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか	87.2	78.9	80.0
⑥	理科の勉強は好きですか	83.5	79.7	79.7
⑦	理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	84.4	67.6	67.9

◎学習意識の考察

- ①② 「算数の勉強は好きだ」と思っている児童は、県・全国平均を17ポイント以上、上回っている。また、「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」も、県・全国平均を10ポイント以上、上回っている。このことから、学習内容を日常生活で活用することを楽しんだり、答えを自分なりの考えで説明したりする楽しさを見いだせているものと考ええる。
- ③④ 「国語の勉強は好きだ」と思っている児童は、県・全国平均を20ポイント近く上回っている。「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」という設問にも98%以上の児童が「はい」「どちらかといえばはい」と回答している。引き続き、目的意識を持った授業を行うことで、子どもたちが学習に楽しさを感じ、国語の学習が生活につながっていることを感じるようにしていく。
- ⑤ 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか」では、県・全国平均を上回る結果となっている。今後も道徳の授業を通し、お互いの意見を交換し合うことで自身の意見が深まるという経験ができるよう交流を行っていく。

◎生活意識の結果

※数値は「はい」「どちらかといえばはい」の合計（単位は%）

生活調査		青木小 (R4)	県	全国
①	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用している時間も含む）※2時間以上と回答	55.0	31.8	25.1
②	自分にはよいところがあると思いますか	90.8	79.7	79.3
③	新聞を読んでいますか	21.1	13.6	13.8
④	今住んでいる地域の行事に参加していますか	70.7	48.2	52.7
⑤	地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがありますか	69.7	51.4	51.3
⑥	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	83.5	75.0	73.5

◎生活意識の考察

- ① 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしている（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用している時間も含む）という設問項目に2時間以上と回答した児童は、県・全国平均20ポイント以上、上回っている。このことから、多くの観点で県・全国平均を上回った結果につながっていると考えられる。
- ② 自分にはよいところがあると思う児童は、県・全国平均よりも上回っている。生活科・総合、PJ活動等で取り組んできた成果であると考えられる。より自己肯定感を高めていくための授業づくりや、声掛けを意識してさらに高めていく。
- ③ 新聞を読んでいる児童は、県・全国平均を約8ポイント上回っている。新聞にふれる機会が多く、世の中のニュースに興味を持っているということが考えられる。
- ④⑤ 今住んでいる地域の行事に参加している児童は、県・全国平均を上回っている。地域への関心が高い児童が多いといえる。「地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがありますか」では、県・全国を20ポイント近く上回っている。青木のまちの風総会や青木の時間等で、地域の方々と関わったり、話を聞いたりすることが多いことが理由の一つに考えられる。今後も、継続して地域とのつながりを持ち、社会の一員として自分になにができるのかを考えられるようにしていく。
- ⑥ 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」では、県・全国平均を8ポイント程度上回っている。青木の時間等を通して、自分と違う考えがあることに気付き、話し合いを通して意見の違いを乗り越えて、よりよい考えを見つけ出す経験などを行っている成果ではないかと考えられる。引き続き一人ひとりの個性を伸ばし、安心して意見を伝えたり、違う考えを認め合ったりできる学級づくりを学校全体で目指していく。